

久喜市議会だより

No.13

平成25年5月15日

発行/久喜市議会 編集/久喜市議会広報委員会 〒346-8501 久喜市下早見85の3 ☎ 0480(22)1111(代)
 FAX 0480(21)6061 [HP] <http://www.city.kuki.lg.jp/section/gikai/gikai.html> [E-mail] gikai@city.kuki.lg.jp



▲(上)青毛堀川の桜 (下)清久さくら通り

- ◇2月定例会の概要 (2)
 正副議長就任あいさつ
- ◇議員名簿 (2)
- ◇提出議案とその結果 (3)~(5)
 市長提出**59**件、議員提出**7**件
 人事議案(久喜市教育委員会委員、
 久喜市固定資産評価審査委員会委員)
- ◇平成25年度施政方針 (6)
- ◇施政方針に対する代表質問 (6)~(7)
- ◇本会議における討論 (8)~(11)
 賛成! 反対! 延べ**25**人が熱い討論を展開
- ◇市政に対する一般質問 (12)~(19)
24人が市政を問う!!
- ◇意見書・陳情他 (20)

6月定例会のお知らせ

平成25年6月定例会は、次の日程で開催される予定です。

月 日	内容	時刻	概 要
5月30日(休)	委員会	午前9時	議会運営委員会
6月6日(休)		午前9時	開会、議案上程
6月12日(休)		午前9時	市政に対する一般質問
6月13日(休)	本会議	午前9時	市政に対する一般質問
6月14日(休)		午前9時	市政に対する一般質問
6月17日(月)		午前9時	市政に対する一般質問
6月19日(火)	本会議 委員会	午前9時	議案質疑 予算決算常任委員会
6月20日(水)		午前9時	総務財政市民常任委員会・分科会
6月21日(木)		午前9時	福祉健康常任委員会・分科会
6月24日(日)	委員会	午前9時	建設上下水道常任委員会・分科会
6月26日(火)		午前9時	教育環境常任委員会・分科会
7月2日(火)	委員会 本会議	午前9時	予算決算常任委員会 討論・採決、閉会

※6月26日の教育環境常任委員会は、栗橋文化会館(イリス)での開催を予定しております。

2月定例会の概要

会期 2/12(火)～3/19(火)

平成25年2月定例会は、2月12日(火)から3月19日(火)までの36日間の会期で開催されました。市長提出議案は、「平成25年度久喜市一般会計予算について」をはじめ、追加提出議案を含む59件、すべて原案どおり可決されました。また、議員提出議案については、提出された7件のうち、5件が原案どおり可決され、2件が否決されました。

議長に鎌田忠保氏、副議長に岡崎克巳氏を選出

平成25年3月19日の久喜市議会2月定例会最終日に、上條哲弘議長から議長の辞職願が、戸ヶ崎博副議長から副議長の辞職願が提出されました。これに伴い正副議長選挙を行い、鎌田忠保議員が議長に、岡崎克巳議員が副議長に選出されました。



議長
鎌田 忠保



副議長
岡崎 克巳

《就任あいさつ》

2月定例会におきまして、議長ならびに副議長の要職を担うこととなり、身に余る光栄でありますとともに、その責任の重さを痛感しております。

地方自治の進展と市民福祉の向上のため、市民の皆様の声を市政に十分に反映させ、議会の権能を最大限に発揮し、活力ある議会運営に専心努力いたす所存でございます。

今後とも、市民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

久喜市議会議長 鎌田 忠保
久喜市議会副議長 岡崎 克巳

議員名簿

議席No.	氏名(会派)	常任委員会	
		◎委員長 ○副委員長	
1	渡辺 昌代(共産党)	予算決算	福祉健康
2	石田 利春(共産党)	予算決算	建設上下水道
3	木村 奉憲(共産党)	予算決算	総務財政市民
4	杉野 修(共産党)	予算決算	教育環境
5	梅田 修一(飛翔)	予算決算	建設上下水道○
6	井上 忠昭(飛翔)	予算決算	総務財政市民
7	大谷 和子(飛翔)	予算決算	教育環境◎
8	上條 哲弘(飛翔)	予算決算	総務財政市民
9	園部 茂雄(政策会議)	予算決算○	建設上下水道
10	春山 千明(政策会議)	予算決算	教育環境○
11	富澤 孝至(政策会議)	予算決算	建設上下水道◎
12	田村 栄子(無会派)	予算決算	福祉健康
13	齋藤 広子(公明党)	予算決算	福祉健康
	—		
15	矢崎 康(公明党)	予算決算	福祉健康◎
16	鈴木 精一(飛翔)	予算決算	総務財政市民◎
17	並木 隆一(飛翔)	予算決算	建設上下水道

議席No.	氏名(会派)	常任委員会	
		◎委員長 ○副委員長	
18	鈴木 松蔵(飛翔)	予算決算	教育環境
19	盛永 圭子(飛翔)	予算決算	福祉健康○
20	柿沼 繁男(飛翔)	予算決算	教育環境
21	猪股 和雄(政策会議)	予算決算	福祉健康
22	石川 忠義(政策会議)	予算決算	教育環境
23	新井 勝行(政策会議)	予算決算	総務財政市民
24	内田 正(政策会議)	予算決算	総務財政市民
25	岡崎 克巳(公明党)	予算決算	建設上下水道
26	足立 清(公明党)	予算決算	総務財政市民○
27	戸ヶ崎 博(公明党)	予算決算	教育環境
28	松村 茂夫(飛翔)	予算決算	総務財政市民
29	青木 信男(飛翔)	予算決算	教育環境
30	宮崎 利造(飛翔)	予算決算	建設上下水道
31	大鹿 良夫(飛翔)	予算決算◎	福祉健康
32	山田 達雄(飛翔)	予算決算	総務財政市民
33	岸 輝美(飛翔)	—	福祉健康
34	鎌田 忠保(飛翔)	—	建設上下水道

提出議案とその結果

※付託委員会

(予) 予算決算常任委員会

(総) 総務財政市民常任委員会

(福) 福祉健康常任委員会

(議) 議会運営委員会

(建) 建設上下水道常任委員会

(教) 教育環境常任委員会

飛翔……飛翔

政策……政策会議

公明……公明党

○…賛成 ×…反対 ▲…退席
共産……日本共産党 無派……無会派

● 2月定例会（市長提出議案）

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議案第1号	平成24年度久喜市一般会計補正予算（第5号）について（予）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	平成24年度久喜市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	平成24年度久喜市介護保険特別会計補正予算（第2号）について（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	平成24年度久喜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	平成24年度久喜市下水道事業特別会計補正予算（第3号）について（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	平成24年度久喜市土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）について（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	平成25年度久喜市一般会計予算について（予）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第8号	平成25年度久喜市国民健康保険特別会計予算について（福）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第9号	平成25年度久喜市介護保険特別会計予算について（福）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第10号	平成25年度久喜市後期高齢者医療特別会計予算について（福）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第11号	平成25年度久喜市下水道事業特別会計予算について（建）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第12号	平成25年度久喜市農業集落排水事業特別会計予算について（建）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第13号	平成25年度久喜市土地区画整理事業特別会計予算について（建）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第14号	平成25年度久喜市土地取得特別会計予算について（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	平成25年度久喜市水道事業会計予算について（建）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第16号	久喜市行政評価委員会条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	久喜市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	久喜市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	久喜市証人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	久喜市東鷲宮駅東西連絡地下道バリアフリー化整備基金条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	久喜市高齢者生活援助サービス条例の一部を改正する条例（福）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第22号	久喜市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例（福）	○	○	○	○	○	原案可決

(4)

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議案第23号	久喜市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	久喜市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	久喜市障がい者施設条例の一部を改正する条例（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号	久喜市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	久喜市新型インフルエンザ等対策本部条例（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	久喜市空き家等の適正管理に関する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号	久喜市暴力団排除条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	久喜市菖蒲文化会館条例の一部を改正する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	久喜市栗橋文化会館条例の一部を改正する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	久喜市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第33号	久喜市消防団条例の一部を改正する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	久喜市道路の構造の技術的基準等を定める条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	久喜市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	久喜市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	久喜市市営住宅条例の一部を改正する条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	久喜市都市計画マスタープラン策定委員会条例を廃止する条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	久喜市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	久喜市都市公園条例の一部を改正する条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	久喜市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	久喜市下水道条例の一部を改正する条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	久喜市都市下水路条例の一部を改正する条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第44号	久喜市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	指定管理者の指定について（福）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第46号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	町及び字の区域の変更について（建）	○	○	○	○	○	原案可決

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議案第49号	久喜市環境基本計画について（教）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	路線の認定について（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	路線の廃止について（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第52号	平成24年度久喜市一般会計補正予算（第6号）について（予）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	平成25年度久喜市一般会計補正予算（第1号）について（予）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第54号	久喜市東日本大震災復興交付金基金条例（建）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	久喜市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	同意
議案第56号	久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第57号	久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第58号	久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第59号	久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意

● 2月定例会（議員提出議案）

議案番号	件名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議員提出第1号	久喜市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出第2号	久喜市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出第3号	久喜市議会政務活動費の交付に関する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出第4号	久喜市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例【定数28名とする】（議）	×	○	×	×	○	否決
議員提出第5号	久喜市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例【定数30名とする】（議）	○	×	○	×	×	原案可決
意見第1号	東日本大震災に伴う液状化対策事業の宅地部分に対し国の支援を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
意見第2号	生活保護基準の引下げをしないことを求める意見書	×	○ 1 ×6	×	○	×	否決

○ 人事議案 下記の人事について議会の意見を求められ、同意しました。

● 久喜市教育委員会委員

かごしま きんえ
鹿児島 金衛 氏（加須市砂原）

● 久喜市固定資産評価審査委員会委員

まつもと ひろみつ
松本 浩充 氏（久喜市葛梅2丁目）

ひだ よしお
樋田 芳雄 氏（久喜市栗橋東6丁目）

おかやす しょういち
岡安 正一 氏（久喜市菖蒲町三箇）

さよ かおる
佐世 芳 氏（久喜市吉羽1丁目）

平成25年度施政方針

2月定例会初日に、田中市長が市政運営ならびに予算編成の基本方針演説を行い、その演説に対し、各会派から2月24日に代表質問が行われました。その概要について掲載します。なお、演説の全文は、久喜市ホームページに掲載されています。



平成25年度施政方針を語る田中暄二市長

平成25年度市政運営の基本方針

平成25年度は、久喜市総合振興計画に基づく市政運営の初年度となる極めて重要な年である。本計画は、久喜新時代を創出していくために長期的視点のもと、重点的かつ早急に施策を展開できるよう策定したところである。本計画における将来像「豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市～人と愛、水と緑、市民主役のまち」を実現するため、また合併後の本市の大きな課題である一体感の醸成を一層推進するため、前期基本計画5カ年に重点的・横断的に取り組む4つのリーディングプロジェクトを掲げ、優先的かつ積極的に事業展開を図っていく。

平成25年度の予算編成の基本方針

わが国の経済は長年続くデフレと歴史的な円高により、危機的状況に陥っている。国会で審議中の補正予算案は、「復興・防災対策」「成長による富の創出」「暮らしの安心・地域活性化」の3分野に重点化し、当面の経済を強力に押し上げ、将来の成長につながる施策を総動員した。しかし、国債の新規増発を財源としており、平成24年度の国債発行額は、一般会計ベースで過去最大となる見込みである。

平成25年度については、一般会計の総額を、7年ぶりの減額予算とし、新規国債発行額を平成24年度予算より少なく抑えるなど、財政規律に配慮した予算となる見込みである。平成25年度地方財政対策では、一般財源総額を平成24年度と同水準で確保するとされたが、社会保障関係費の大幅な自然増が続いていることは、地方の財政にとって共通の課題である。公共施設やインフラの老朽化が全国的に進み、その整備費用も今後の大きな課題となっている。借入金残高は、地方交付税の代替である臨時財政対策債の発行により、年々増え続け、地方財政を取り巻く環境は、厳しさを増している。

地方財政は、国の政策の影響を強く受けることから、今後の国の状況を注視し、的確に対応していく。

平成25年度施政方針に対する代表質問

飛翔

梅田修一 議員



防火、防犯体制の強化を 他（全21項目中抜粋）

問 久喜市として防火、防犯体制の強化をどのように図っていくか伺う。

答 消防組合並びに警察署に防火、防犯体制の強化のお願いをし、学校と連携を図り不審者情報の共有化や市職員、教職員による防犯パトロールを強化した。今後も関係機関や地域の皆様と一層の連携を図り、防火、防犯体制の強化に努めていく。

問 保育園の施設整備が進む中、保護者の意向に沿った保育サービスとは具体的にどのようなものか。

答 低年齢児の保育需要に対応するため、平成25年4

月から新たにゼロ歳児を受け入れ、1歳児と2歳児を増員して定員を拡大するとともに、一時保育事業を実施する。

問 久喜駅に新幹線の駅を設置すべきだが。

答 本市のみならず周辺地域の長年の悲願である新幹線の駅設置に向け、今後も本市を初めとする近隣6市2町で構成する東北新幹線久喜駅設置促進期成同盟会を通じ継続して要望活動を行っていく。

問 新市の一体感を醸成する具体的な方策は。

答 市内の各イベントを主催する実行委員会などに、引き続き必要な補助金を交付していく。今後も様々な機会を通じ、各地域の交流が図られるよう各団体に呼びかけ、より一層の一体感の醸成を図っていく。



政策会議

春山千明 議員



市政運営の基本方針について 他（全24項目中抜粋）

問 それぞれの施策は、均衡ある発展と一体性を速やかに確立するため施策は峻別して進めるべきだがいかがか伺う。

答 各施策は一概に峻別することはむずかしい。均衡ある発展と一体性を速やかに確立するために一例として、一体化を促す幹線道路の整備とそれに接続する地域のための生活道路の整備など、生活に密着した整備を行いつつ、均衡ある発展につなげていく。

問 重点政策の中に農業、自然環境に関する内容がないのはなぜか。

答 重点政策にあらためて農業や自然環境に関する施策は掲げていないが、さらに充実を図っていく。平成25年度は緑の基本計画を策定し、農業基本条例を制定し、人・農地プランを策定していく。

問 教育について国が問題としている課題はいじめや体罰、教育委員会改革等があるが、久喜市の教育課題について市長の見解を伺う。

答 いじめは状況によっては子供の生命を奪う重大な教育問題と考えている。いじめの根絶を目指して教職員の問題意識を深め、指導力を高めるための取り組みを推進している。今後も子供たちが安全、安心な環境のもと、充実した学びと成長が遂げられるまちづくりを推進していく。



公明党久喜市議会議員団

矢崎 康 議員



通学路の安全対策について（全34項目中抜粋）

問 スクールガードリーダー等の意見、地域からの要望はどのように吸い上げ、対応されているか。

答 定期的に情報を頂き、各担当課や関係機関で共有し、必要な対策に取り組んでいる。

通学路緊急点検結果の取り組み状況の公表は

問 住民、学校関係者の意識が高められ対応箇所が計画的に改善され、継続的な体制構築に向けた取り組みをホームページにて公表すべきと考えるが。

答 現在公表に向けての資料を作成している。資料がまとまり次第、ホームページに掲載していく。

使用済み小型家電リサイクル事業の推進について

問 環境省は4月よりこの事業において回収ボックス等の設置費用、市民への広報費等の財政支援もされると聞いている。このような時機を逸することなく、果敢にこの事業を進めるべきと考えるが。

答 昨年9月と本年2月に埼玉県の説明会に職員を出席させた。宮代町及び久喜宮代衛生組合と昨年11月に協議を行いできるだけ速やかに事業を実施することを確認した。実施主体は久喜宮代衛生組合、回収方法は同

組合が実施している燃やせないゴミの分別回収を利用したピックアップ回収が経費の負担が少なく、継続的な実施が可能との検討結果に至った。

速やかな事業実施につなげていきたい。



日本共産党久喜市議団

石田利春 議員



市民の命と暮らしを守る市政を（全34項目中抜粋）

問 TPPは久喜市の農業、医療に大きな影響がある。参加すべきでないとの態度表明を。

答 国益を最優先に判断を下してほしい。国の動向を注意深く見守る。

問 原発は直ちに中止し、自然再生エネルギーへの転換を決意すべき。

答 原発に依存しない取り組みが重要。再生エネルギーや省エネルギーの導入の促進を図っていく。

問 公共料金の相次ぐ値上げで「合併してもいいことがない」との声がある。どう受け止めているのか。

答 健全な財政運営の構築と適正サービス、適正負担を基本姿勢として調整して来た。

問 高くて払いきれない国保税の引下げを

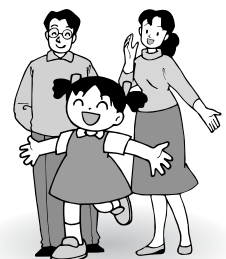
答 国保は社会保障制度として、継続しなければならない制度。一般会計から繰り入れは必要最小限に。

問 南栗橋地域の復興は、最優先課題。南栗橋地域の完全復興の姿はどのようなものと考えているか。

答 南栗橋地区が笑顔にあふれ、かつての生活を取り戻すことがこの地域の復興と考える。

問 憲法9条は、アジアと世界に向けた「国際公約」憲法を暮らしに生かす姿勢を宣言すべき。

答 憲法が掲げる平和主義の理念はいかなる状況においても堅持し続けなければならない。



本会議における討論

2月定例会の最終日には、議案16件に対し、延べ25人の議員が討論を行いました。討論とは、議案等に対して、表決の前段階において賛成又は反対の意を述べることをいいます。その概要を紹介します。

議案第1号 平成24年度久喜市一般会計補正予算(第5号)について

賛成 猪股 和雄 議員 (政策会議)

最終補正予算で法人税が5億円の増額となったのは当初予算が過少見積もりだったのではないかと。財政調整基金は当初は35億円から20億円に減っていたが、逆に45億円へ大幅増となった。こんな財政運営では「財政がきびしい」と言っても市民から信用されなくなる。財政運営の手法を改めるように要望する。

議案第7号 平成25年度久喜市一般会計予算について

反対 木村 奉憲 議員 (日本共産党久喜市議団)

不況による危機的な状況を変えるため、地元を支える中小零細業者の正規雇用を確保し、地域循環型経済の具体的な方針と施策は脆弱だ。また、合併による住民負担増やサービスの低下は住民目線から考えても問題。各地域での工業団地や開発優先ではなく、福祉の向上など身近な市民要望を救い上げるべきであり、反対。

賛成 井上 忠昭 議員 (飛翔)

不況脱却にむけた期待感が広がっているが、地方をとりまく環境はまだまだ厳しい。その中、合併4年目を迎え、さらなる市の発展に向けた積極的予算編成と評価する。25年度事業が市長の強い意志・気概のもと、久喜市と久喜に係る全ての人の幸せに直結することを期待し賛成する。

賛成 足立 清 議員 (公明党久喜市議会議員団)

市の均衡ある発展と社会インフラの整備など「新市の一体感」を図るため、主要幹線道路の整備、市民の安心・安全への予算編成である。①本庁舎耐震事業②循環バス延伸事業、菖蒲東部地区、鷲宮団地まで運行③デマンド交通事業の導入④子ども医療費の通院費用を中学卒業まで支給拡大等、市民生活に直結した予算である。

賛成 春山 千明 議員 (政策会議)

固く見積もらざるをえない予算状況の中、約2億7800万円増で25億3000万円にもなる「生活保護費」や障がい者に対する「介護給付費」、「子ども医療費」など社会保障関係が増大の編成となっていて、『つけるところにはしっかりとつける』という正当な姿勢がみえるので評価したい。



議案第8号 平成25年度久喜市国民健康保険特別会計予算について

反対 渡辺 昌代 議員 (日本共産党久喜市議団)

平成25年度の保険税収入は3.1%の減収予算であり、国庫負担金は8.7%3億5000万円減っている。国の補助率の引き上げを強く要求すべきである。特定保健指導への施策は期待する。しかし、一般会計その他繰り入れは2億6000万円減らさずに、そのままにして、市民負担を軽減する方向を考えるべきである。

賛成 盛永 圭子 議員 (飛翔)

増え続ける医療費を抑制することが課題となっている。特定保健指導事業における重症化予防の新たな取り組みや、ジェネリック医療品使用促進通知の拡大が図られている。今後も市民の健康を保持増進するための努力と国保税の課税にあたっては市民の負担が増えることのないよう、国民健康保険を安定的に運営してほしい。

議案第9号 平成25年度久喜市介護保険特別会計予算について

反対 渡辺 昌代 議員 (日本共産党久喜市議団)

平成25年度の介護認定見込み数は6.1%の伸びである。昨年は第1号被保険者の負担が増え、生活援助サービス時間が削減され、不満の声が出ている。定期巡回・随時対応型訪問介護は利用者がいままである。特養の待機者は688人になっている。国庫負担増を要求し、制度の改善、市民負担軽減をすべきである。

議案第10号 平成25年度久喜市後期高齢者医療特別会計予算について

反対 木村 奉憲 議員 (日本共産党久喜市議団)

医療費が多いと75歳以上の高齢者を別枠とし、診療報酬などで差別医療を強いる制度自体問題。従来制度に戻すべき。保険料は見直しの度に上がり、年金から強制天引き。県の広域連合では滞納総額10億円、1万2千人以上の滞納者、短期保険証も発行される現状は問題。保険料の引下げ、減免制度の拡充すべきであり、反対。

議案第11号 平成25年度久喜市下水道事業特別会計予算について

反対 石田 利春 議員 (日本共産党久喜市議団)

本予算は使用料の大幅値上げが含まれ、5千400万円が負担増となる。受益者負担金は、菖蒲地域で上限33万円を徴収猶予とする1,000㎡の場合でも80万円と大幅な値上げとなり、接続の低下など懸念される。菖蒲・栗橋・鷺宮で実施していた一括納付報奨金制度も廃止。負担増を軽減しようとする努力を合併に生かすべき。

賛成 宮崎 利造 議員 (飛翔)

下水道事業は、3,277mの管きょ整備、合流式下水道の改善、災害時の緊急輸送道路のマンホール浮上対策などに取組んでおり、安心・安全な施策と健全な運営、経営基盤の強化に向けた予算を評価する。古利根川流域下水道の維持管理負担金単価の県内格差解消への取組みと一層の健全化を要望し賛成する。

議案第12号 平成25年度久喜市農業集落排水事業特別会計予算について

反対 石田 利春 議員 (日本共産党久喜市議団)

歳入歳出の総額はそれぞれ7億800万円、歳入には使用料の大幅値上げ、平均改定率は14.4%が反映され、予算の上では11.2%増の1億5600万円が見込まれ、市民の負担増となっている。デフレ不況で市民の所得が下がり続けている中で、値上げによる負担増は実施すべきではない。以上のことから反対する。

議案第15号 平成25年度久喜市水道事業会計予算について

反対 石田 利春 議員 (日本共産党久喜市議団)

平成24年度の純利益は5億4300万円の見込み。7.1%値上げが反映されている。久喜市の水道料金、埼玉県内では20ミリ口径で8位と高い位置にある。現金残、内部留保金は平成25年度36億800万円が見込まれ、2億7900万円の増となる。高い水道料金を引き下げ、市民への負担を減らすべきである。

賛成 並木 隆一 議員 (飛翔)

「久喜市水道ビジョン」の施設整備計画や財政収支計画を基に、石綿セメント管を含む経年管の更新、吉羽浄水場のコントローラCPUの交換工事及び耐震補強工事、佐間・森下両浄水場の土木施設の耐震診断を実施する等、安心、安全で良質な水の安定給水を図る事業内容と災害に強い施設を構築する取り組みを評価し、賛成する。

議案第21号 久喜市高齢者生活援助サービス条例の一部を改正する条例

反対 渡辺 昌代 議員 (日本共産党久喜市議団)

介護保険が改正され、生活援助サービスはそれまでの60分から45分までとされた。利用者、ヘルパー、事業者から不満と改善の声がでている。全国民医連のアンケート結果では、調理・買い物・コミュニケーションに支障がでている。久喜市の進んだ良い施策として、変更せずに、市民サービスすべきである。



議案第28号 久喜市空き家等の適正管理に関する条例**賛成** 鈴木 精一 議員 (飛翔)

空き家は急速な勢いで増えている。空き家の急増に伴い、市民からの苦情や相談件数も著しく増加、暮らしの安全安心が脅かされる要因になっている。まずは「空き家条例」を制定し、空き家に対する市の対処指針を明確にさせ、実効性を持たせていく必要がある。

議案第35号 久喜市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例**賛成** 猪股 和雄 議員 (政策会議)

分権一括法で、従来は国の政令で一律に決まっていたバリアフリーの構造基準を、自治体が独自の基準を定められるようになった。私は議案質疑で、点字ブロックの設置方法などについて、市の独自基準を盛り込むように提起した。今回、久喜市では国基準をそのまま条例化した。今後、独自基準を研究検討するべきである。

議案第45号 指定管理者の指定について**反対** 杉野 修 議員 (日本共産党久喜市議団)

本案は公共施設の管理を指定するとしつつ、学童保育事業を任せるものである。指定管理の市の基準には運営コストが削減できるもの、としており、行政改革(リストラ)の一手法であることは明らか。学童保育事業は、公立直営でこそ保護者の声に耳を傾け、それを予算に反映させて、充実させることができるものである。

**議案第49号** 久喜市環境基本計画について**賛成** 鈴木 松蔵 議員 (飛翔)

この計画は、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定されたものである。施策の展開では、目標数値、目標達成の計画が示されている。これらの達成には、計画の根拠を、市民、事業者に理解してもらう必要がある。この計画の着実な推進をして、所期の目標を達成することを期待する。

議案第54号 久喜市東日本大震災復興交付金基金条例**賛成** 大鹿 良夫 議員 (飛翔)

東日本大震災から2年が経過したが復興はまだ遠い。南栗橋地区は液状化被害を受け、同規模の地震で再液状化が起きると言われている。久喜市は東日本大震災復興特別区域法の対象区域になった事を受け、再液状化対策事業地下水位低下工法の実証実験を実施。本事業の財源にあてる基金条例に賛成する。早期完成で安心を。

**意見第2号** 生活保護基準の引下げをしないことを求める意見書**賛成** 石田 利春 議員 (日本共産党久喜市議団)

生活保護費の削減は、憲法25条の生存権保障のもと貧困からの脱却を図ろうとする214万人に影響し、最低賃金や就学援助などにも深刻な影響を与える。生活保護費削減の中心は食費や光熱費など「生活扶助費の基準」を3年間で670億円引き下げたもの。受給者の96%に及び貧困を拡大する。意見書に賛成。

**議員提出 久喜市議会議員の定数を定める条例
第5号 の一部を改正する条例**

反対 杉野 修 議員 (日本共産党久喜市議団)

住民自治の中心的制度として地方議会がある。いま地域には「合併してから議員の姿が見えなくなった」という指摘があることは重大だ。一市三町の議会にはかつて75名いたことからすると、すでに40名を削減している。これ以上の減数は議会の行政監視機能や、政策立案能力を低下させ、自殺行為に等しい。

賛成 岡崎 克巳 議員 (公明党久喜市議会議員団)

新市の一体感醸成の推進的役割を担っている、旧1市3町の地域の声を市政に届けなければならない、4常任委員会の維持及び審査の充実、さらなる行政改革に取り組みなければならない、などの現在の議員の役割を総合的に判断し、合併前の議員数60からは50%を削減し、現在の定数の約1割削減となる「定数30」に賛成する。

反対 石川 忠義 議員 (政策会議)

本案の審議・審査では「なぜ30人なのか」という根拠が示されることがなかった。また、根拠に足るものではないものが、根拠として説明された。さらに、最小限の議員数で議会の役割である「住民代表機関として議論できる場」かどうかの検討がされたのか、疑問も生じた。よって、理論的な根拠に欠ける本案に反対する。

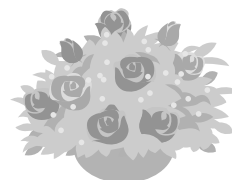
賛成 鎌田 忠保 議員 (飛翔)

当市は、人口集中区域と農村集落との人口集積格差が顕著であり、地域の均衡ある適正な行政、能率的な行政、住民の要望に適應した行政に対応するため、地域満遍なく議員が選出される体制が望ましく、現行の定数について極端な減数への改正をするよりも、県内の類似団体の平均とほぼ同じ議員定数30の提案に賛成する。

出張

委員会を各所で開催します。

- 6月26日(水)「教育環境常任委員会・分科会」……栗橋文化会館(イリス)
- 9月24日(火)「建設上下水道常任委員会・分科会」……鷺宮総合支所
- 12月17日(火)「福祉健康常任委員会・分科会」……菖蒲総合支所



市議会をインターネットで!

市議会の本会議をインターネット中継します。また、録画もご覧いただけます。



インターネット中継 閲覧件数 (平成25年2月、3月利用分)

月	ライブ映像閲覧件数	録画閲覧件数
2月	1,903件	548件
3月	1,390件	914件

久喜市議会のホームページからリンクしています。
<http://www.city.kuki.lg.jp/section/gikai/gikai.html>

盛永圭子 議員

飛翔

おぼやし

小林交差点の改良整備は

問 小林交差点の改良整備の予定はいつか。

答 地元説明会を実施した。24年度は用地測量をしている。今後用地買収や物件補償など、個別補償に着手する予定である。

問 危険な交差点なので早急に進めてほしい。

答 引き続き交渉のほうに進んでまいりたい。



改良予定の小林交差点

岸輝美 議員

飛翔

自治体(都市)間競争に備えて

問 「久喜市総合振興計画」は終了年次の目標人口を15万900人としている。この数字の方向性は。

久喜市は「拡大都市」を目指すべきだが。

答 より本市の魅力を高め人口増加につなげていく。目指す方向は拡大都市という考えである。

問 評価される自治体へのポイントとなる政策は。

都市間競争には従来型都市政策のあれもこれもから、あれかこれか、老若男女誰でもからメインターゲットの設定が求められる。方策を伺う。

答 交通の利便性を活かし、企業の集積・雇用の確保を促進、生産年齢人口の流入増加につなげたい。合わせて子育て支援策を充実し、若い世代に魅力を感じて

通学路の整備を

問 栢間かやま小学校の正門前は大変危険である。手押し信号機を再々要求してきたがいかがか。

答 公安委員会で優先順位をつけている。なかなか要望通りにはいかない。

問 事故があってからでは遅すぎる。早急に設置してほしい。

答 今後も久喜警察署に積極的に要望する。

問 上栢間の通学路、小川牛乳前に手押し信号機の設置をここも再々要望している。いつできるのか。

答 市として信号機が設置されるまで引き続き、久喜警察署へ要望する。

圏央道のパーキングエリアの運営は

問 パーキングエリアに地元の特産物の販売など、地域の活性化を図ってほしい。

答 ネクスコ東日本と協議をしていきたい。

もらえる久喜市を創出していきたい。

問 (情報) 交流人口の拡大について。

答 シティプロモーションの推進を通じ、交流人口の拡大を目指す。本市の魅力を経略的に広く発信、イメージの向上、定住人口の増加を目指していく。

問 都市間競争とは自らが立てる政策競争でもある。全員参加・統一コンセプト・長期に、が必要とされる。考えを伺う。

答 現在シティプロモーション推進指針及び同行動計画策定に向け準備中である。こうした取り組みにより定住・転入人口の拡大に努めていきたい。



田村栄子 議員

無会派

市内商工会の支援について

問 市内4商工会の補助金の補助率が、久喜市26%、菖蒲25%、鷺宮17%、栗橋14%となっており、栗橋商工会だけが他の3つより、異常に低い。この不公平な扱いが未だに改善されてない理由は。また、商工会の発展のために統一(合併)より先に補助金の平等な扱いが急務であると



栗橋商工会館

考えるが、いかがか。

答 商工会は1行政区1商工会という規定があり統一は避けられない。4商工会が統一するまで補助率は現状でやっていく。現在合併に向けた協議は中断したままであり、早く協議の再開を願う。商工会が1つになれば今後のことは検討していく。

南栗橋の再液状化について

問 再液状化防止の改良工事の必要性は住民の判断材料としてガイドラインを行政側から示すべき。また、先に工事を済ませた人も公平に扱うべきだが。

答 地域住民に対して地区毎に説明会を行い、十分な理解を得たい。工法判断材料として地下水位低下工法の実証実験を南栗橋スポーツ広場において、本年5月から来年3月まで実施する。先に工事を済ませた人には個々に聞き取り調査を行い対処する。

その他の質問 ◇学期制について◇防災・減災訓練について◇原発事故からの放射線の影響について

石川 忠 義 議員

政策会議

土地開発基金は廃止し財源にすべき

問 土地開発基金は合併前から引き継いだもので、条例において「公用もしくは公共用に供する土地または



「土地開発基金で所有する市内の土地」

公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得し、事業を円滑にすすめるため」に設置された。

平成24年度末の見込みは、現金が約2億2450万円、土地が約7億3466万円になる。基金は、現在の残高・今後の見込み額と市が計画している公用・公共用の施設などの整備計画に整合性がなければならない。

取得する必要があるか分からない土地のために、金を積み立て、利用するかどうか分からない土地を保有し続けるのは財政運営上、好ましくない。需要のある他の事業に予算配分すべきである。

直ぐに、土地開発基金の廃止を含めて、あり方を見直すべきだが、いかがか。

答 行政改革大綱にのっとり検討していたが、今後の基金活用の具体的な計画はない。

廃止の手法について検討し、できるだけ早い機会に廃止できるように進めて行く。

内 田 正 議員

政策会議

各地で活況を呈する太陽光発電事業について

問 市有地や公共施設を貸して自治体に賃料を得る太陽光発電事業が各地で活況を呈しているが、取り組む姿勢を伺う。

答 埼玉県の県有施設屋根貸し太陽光発電事業では、公有財産302施設から12施設、25棟に導入し、設置面積9,991㎡、発電規模1,324キロワットの見込みである。このほか、県内でのメガソーラーの設置状況は、行田浄水場受水槽の屋根部分2.2ヘクタールに1.2メガワット、本市のNHK菖蒲久喜ラジオ放送所に2メガワットが稼働している。メリットとしては、環境啓発、地球温暖化対策のほか、未利用地の有効活用や定期的に賃料が入ることなどが挙げられるが、一方、屋根貸しでの

構造上の安全性確保、防水機能の補償問題、あるいは買取り制度の持続性など、課題も言われている。このような状況の中、本市では施設屋根貸し事業などを導入することの効果や課題について、県などからの情報を入手して導入の可能性について調査研究していきたい。



市役所車庫棟上の太陽光発電パネル

齋 藤 広 子 議員

公明党久喜市議会議員団

ファミサポの充実と子育て支援の拡大について

問 緊急サポートセンター埼玉に緊急一時保育、病児・病後児保育・宿泊を伴う保育を委託できないか。

答 市民ニーズの把握に努めながら先進事例を参考に当該事業の実施について検討してまいりたい。



「緊急サポートセンター埼玉」のチラシ

アレルギーを持つ児童に対する対応について

問 アレルギーへの対応や知識、質の向上を目指し保

育所、学校に対して保健分野の研修を計画的に実施すべきである。特にエピペンの使用に関しては保育士、教師に研修を行われているか伺う。

答 本年3月には市教育委員会において食べ物アレルギーに関する研修会が開催される予定なので、市内全ての保育所に広く参加を呼びかけ、対応の周知を図っていききたい。

「保護者が一日保育士体験事業」について

問 一日保育士体験を行うことにより保育所でのふだんの遊びや様子や子供同士のかかわり生活の流れなどを確認することができ、保護者と保育士との信頼関係を深めることができると思うが。

答 事業効果の大きい有意義な事業であることから現在最新事例を参考にしながら平成25年度の実施に向けて検討している。

その他の質問 ◇特別支援学級担任の専門性の向上方策について◇ホームスタート事業の推進について

春山千明 議員

政策会議

公共施設の防犯対策の強化を

問 警備員のいない不特定多数の人の出入りが多い公民館、コミュニティーセンターには、防犯対策の手段として防犯カメラを設置すべきだがいかがか。

答 防犯カメラの設置は、防犯対策を考える上で有効な手段の1つだと認識している。公共施設全体の防犯対策の手段として検討することが適当である。



防犯カメラが設置されていない公共施設

梅田修一 議員

飛翔

災害時の自治体間相互応援協定の締結について

問 東日本大震災の発生から間もなく2年が経過する。災害に強い久喜市をつくることは行政の務めである。同時に被災するリスクの少ない遠方の自治体との協定に拡大するべきだが、協定締結に向けた久喜市の具体的な方針をお示しいただきたい。

答 一定程度距離が離れている、いわゆる遠隔地の自治体との相互応援協定締結の必要性を認識している。現在本市と同規模程度の人口を有する中部地方の市と協定締結に向けて協議を行っている。遠隔地に位置する自治体と災害時における相互応援の体制を整えることは、被災地の応急対応等に有効であり、引き続き協定締結に向けて努力をしたい。

木村奉憲 議員

日本共産党久喜市議団

社会保障と税の「改革」と生活保護制度の後退

問 格差と貧困化が進む中、安倍政権は社会保障と税の一体改革のもと生活保護費の引下げを閣議決定した。これは憲法25条で「文化的で最低限度の生活」を保障し、受給されている全国214万人、市内の1500人以上の生活基盤を崩し、最低賃金や非課税基準にも関連する。市はこの影響を軽減する市独自



生活保護申請は久喜市役所のこちらで受付をしています

PTA予算の使途内容の見直しを

問 学校はPTA予算の使途内容をPTAに相談し、了承を得てから使うべきだがいかがか。

答 予算の運用は、PTAの各委員会や役員会における協議や判断により執行されるべきだと考える。

問 市の予算から支払うべきものもPTA予算から捻出している状況があり、学校によっても大きな違いがある。PTA予算で購入すべきものと学校の予算で購入すべきものの教育委員会の見解を伺う。

答 学校が購入すべき物品の考え方が学校により異なる状況については、市教育委員会として学校に対する予算説明会や購入時の協議を通して指導していく。また、PTAで購入する物品についてはPTAの構成員である教職員を通して、市内で大きな差異が生じないように助言をしていく。

その他の質問 ◇市の案内資料は外国語版や点字版を作成すべきだが◇学校ホームページの充実を

問 同規模の中部地方の市と協定締結は、まだ正式決定ではないのか。

答 現在のところ協議段階であり、正式には決定していない。現在協定締結に向けて、その内容等について事務レベルで協議、調整をしている。今後協定締結に向けて努力をしていきたい。

問 時期的にこの正式な協定が締結されるのはいつごろになる見通しであるか。

答 24年度中にはそれぞれ協定内容を事務レベルで確認をと考えおり、25年度にはその内容、日程等が整い次第、協定を取り交わしてまいりたい。



の制度、救援策を図るべきだ。また、保護決定までの生活保障のため基金を設けるべきだ。さらにケースワーカーの増員が必要だ。

答 影響額は算出できない。他の制度への影響は大きいと思う。しかし、市独自の補助制度も基金の創設も考えていない。ケースワーカーの1人当たり担当は約89世帯、今後も必要な人材を確保する。

問 放射能汚染はまだ深刻だ。改善を求めた除染実施の判断基準の見直し、通学路や公園の測定の拡大、学校給食の測定改善は。また原発ストップへの方針と再生可能エネルギー促進を。

答 国の除染基準で定め、引下げはしない。通学路は89か所実施した。学校給食は1か月36品目の事前検査と12回の丸ごと1食検査を実施できるようにした。公園の測定はすべての公園で258か所、3回実施した。再生可能エネルギーの促進は環境基本計画(案)で太陽光発電などの促進を図る。

富澤孝至 議員

政策会議

空き家を活用した定住促進事業を

問 久喜市の少子高齢化率も県の平均より高く、人口に至っては鷺宮地域の一部を除いて減少している状況である。

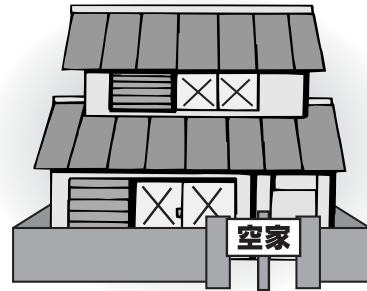
定住促進事業には様々な形態があるが、今回は市が大きく携わる事業の一つとして、定住を促進するために空き家等を活用した定住促進事業に着手すべきだが市の考えは。

答 直近の調査が5年に1度の平成20年10月1日に実施された住宅土地統計調査である。これによるとマンションやアパートなどの集合住宅も含めて、旧久喜市で2,980戸、旧菖蒲町で740戸、旧栗橋町で960戸、旧鷺宮町で1,380戸、合計で6,060戸が空き家となっている、総

住宅数6万1990戸に対して空き家の率は9.78%である。

定住促進対策は、魅力ある活気に満ちたまちを創出することが最も有効で重要なことと考えている。空き家を活用した定住促進住宅事業についても研究すべき手法の一つである。

本市のそれぞれの地域に応じた施策や事業を展開し、状況に合った定住促進対策について、人口の動向や空き家等の発生状況を見ながら関係部署と連携を図り、研究をしていく。



杉野 修 議員

日本共産党久喜市議団

鷺宮・上内地域の大雨冠水対策強化を

問 鷺宮地域、特にわしみや団地内2・3街区の間では、大雨時の道路冠水がひどく、時には腰の高さを越えて冠水する。住民にとってこの水害解消は長年悩まされてきた深刻な問題だ。冠水する前に、ここから地中に

「導水管」を敷設して雨水を青毛堀川に落とすなどはできないか。また、水路を使うなどその他の工法はないか。



大雨で冠水したわしみや団地

答 この周辺一帯が地盤沈下もあって、低地になっており、その内水が排水しきれないで戻ってくる。そういう問題を解決しなければならない。したがって地域全体を見て「エリア的な排水対策」をする必要がある。その検討をしていく。

学校給食のアレルギー対策を

問 食物アレルギーを持つ児童が誤食した結果、死に至るとい痛ましい事故が他県であった。まず、久喜市では、アレルギーを持つ児童生徒の実態をしっかりと把握できているのか。また、誤食しない手立てと、した場合の対策はとられているか。

答 小学生では102人、中学では35人いる。保護者からの「指示書」でアレルギー物質の特定はできている。また、代替え食にはシールを貼り、区別している。自己注射（エピペン）は、保護者から同意があった場合は、現在、教職員も接種できる。

井上忠昭 議員

飛 翔

(久喜駅)東口大通り延伸を活かしたまちづくり 他

問 延伸が決定されたが、この道路延伸をどうまちづくり、今後の久喜市の発展に活かしていくか。

答 重要な事業と認識し、周辺地区の活性化に繋げていきたいが、まずは道路整備が早急に実現できるよう努力していきたい。

要望 道路が出来たから結果発展するというよりも、その道路をつくることによってどうまちづくりに活かすか、という構想や戦略を持って進めて頂きたい。人口増加や移住、子育て世代の増進、地元商店会を発展させる対策、絶滅危惧種も多いこの地区の自然環境との調和など、展望を持って臨むべきである。確かに周辺地区発展もそうだが、久喜市全体にとっても重要な

路線であると認識してほしい。

犯罪のない安心、安全なまちづくりを

問 子どもや女性を狙った犯罪や空き巣等が起きているが、どう認識し、その対策については。

答 犯罪防止推進活動をしているにもかかわらず発生している。これまで以上に、警察や市民の方々と協働して安心・安全なまちづくりに努めていく。

要望 警察と市では役割に違いがあることを認識し、市として担うべき部分、犯罪が起こりにくい環境整備に徹底して努めて頂きたい。犯罪の少ないまちが、安心、安全なまちづくりの基本である。



東口大通りから見た延伸予定地

鈴木松蔵 議員

飛 翔

教育行政について、武道必修に伴う実施状況は

問 中学校において柔道、剣道、相撲を取り入れた状況とそれぞれ取り入れた理由は。

答 市内中学校で柔道のみを取り入れた学校は5校、剣道のみを取り入れた学校は5校、柔道と相撲を取り入れた学校は1校である。各学校では、施設や用具等に応じて武道の種目を選択し、教員が指導に当たっている。それぞれ取り入れた理由は、①学校の教育を進める上で何がいいのかの選択、②指導できる体育の教員、③生徒の声、である。

問 学校の教員の他、外部からも指導者を入れたようだが、学校、教育委員会として注意したこと、期待した点は何か、また十分に確保できたのか。

答 教育委員会としては、外部指導者の協力を得ることは、武道の指導においてチームティーチングで指導することにより、安全で深まりのある学習を行うことができると思う。指導者からの協力を得るに当たっては、担当教員と外部指導者との間の意思の疎通を図り、指導方針を確認し、安心して充実した学習が進められるよう指導している。

問 武道導入による費用負担について、学校と生徒の負担はどのようにしているのか。

答 すべて用具については、学校備品としている。生徒がわざわざ買いに行くということではない。



戸ヶ崎 博 議員

公明党久喜市議会議員団

防災対策について 他

問 防災意識の向上のために防災安心シートを市が主催の行事等で配布して活用を図ってはどうか。

答 久喜市社会福祉協議会では安心カード設置事業に取り組んでいる。

また本市では平成24年7月から利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」の普及促進に努めている。これら2つの制度は、平常



時はもとより災害時においても活用できるものである。所管の関係部局と連携を図り市が主催する行事等の際に積極的に推進、周知していく。

問 小中学校で、東日本大震災において被災地で活動された消防職員の方を講師に体験等を語って頂き防災教育の充実を図ってはどうか。

答 消防職員等の被災地で活動された方に、児童生徒に対して体験等を直接伝えて頂くような機会は、防災に対して大変意義あるものと認識している。防災教育の充実のためにこのような機会を設定できるよう学校に働きかける。

低炭素のまちづくりのために

問 増加する工業団地への通勤に対しバスの利用を。

答 工業団地にお勤めの方が自家用車の利用を減らし、送迎バスを利用していただくことは、低炭素のまちづくりのみならず渋滞解消にもつながる。送迎バス活用に対し検討していく。

鈴木精一 議員

飛 翔

市が有する債権の管理及び回収の適正化について

問 市税や税外債権の滞納や欠損の現状は。

答 平成23年度決算では、債権数596件、滞納額は約42億1000万円、不納欠損額は2億7713万円だった。市税、国民健康保険税は縮減する一方、税外債権については増加傾向にある。

問 この問題にどう対処し改善するのか。

答 昨年11月に全課を対象に債権調査を実施。債権の滞納額・根拠法令・徴収方法等を調査。本年2月4日に第1回債権一元管理庁内連絡会議を開催し、強制徴収公債権の徴収一元化を進めることとした。庁内連絡会議を継続的に開き、具体的な取組みと債権管理及び徴収の基本的な方針を検討していく。

問 債権管理台帳については。

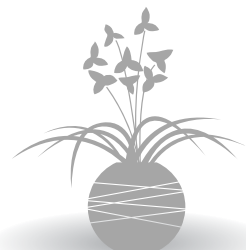
答 適正な徴収を行うに当たり、必要な項目については統一する方向で進めていく。

問 債権管理指針やガイドラインの整備は。

答 滞納に対する統一したガイドラインなどを示す必要がある。庁内連絡会議で検討する。

問 債権管理条例を制定する考えは。

答 収納課において強制徴収公債権を一元管理し、効率的な滞納整理を行い収入未済額の圧縮に努める。また、強制徴収公債権の一元管理の課題や問題点を検討し債権管理条例も含め調査研究していく。



石田利春 議員

日本共産党久喜市議団

南栗橋液状化被害、固定資産税の減免を継続すべき

問 地盤対策など検討している最中であり平成25年度も引き続き税の減免を継続すべき。これまでの減免分は国から交付税措置されており市の持ち出し分はない。

答 国は今年度予算で、地方税の減収分を全額措置するため6000億円を確保するとしており、確実に交付税措置されるという状況になれば減免する。

問 再液状化防止対策、地盤改良を進めるには地権者2/3の同意が必要だが地権者の負担が大きい。県や国の支援を求めるべき。国の動向は。

答 工法によっては、道路など公共施設部分を液状化から守るために、宅地部分に構造物等を埋設する必要が生じる。このような場合は、国が負担することを検

渡辺昌代 議員

日本共産党久喜市議団

久喜市営釣り場の改善について

問 久喜市営釣り場の経営は年々悪化している。利用者は平成23年度比△1,957人、利用料金収入は、前年度比△235万円、収支決算では△633万円と大幅な減少である。どうとらえるか。

答 昨年雨が多かったこと、夏が猛暑だったこと、冬が低温であり放流時期が遅れたことが考えられる。

問 実質的には、魚が釣れないこと



猪股和雄 議員

政策会議

給食食材料の放射能検査の充実を進め、ホットスポットの測定も増やしてほしい

問 鷲宮総合支所で、市民が持ち込んだ飲食物の放射性物質検査を実施しているが、検査時間や検査品目の増、測定結果の出し方などの改善をはかり、PRと市民に検査の呼びかけを行うべきである。

答 市民へのPRと共に、検査の呼びかけをしていく。

問 現在は午前中に市民の依頼による検査をしているが、市民の依頼検査が減っているので、空いた時間に給食食材料の検査を増やすべきである。

答 市民の持ち込みの検査を週2日程度に減らして、給食食材料の検査を増やすよう検討していく。

問 各総合支所などの放射線量測定器を活用して、ホ

討している。

大雪の際、除雪対策はどのように進めるのか

答 市や久喜市建設産業懇和会に速やかな対応ができるよう融雪剤の備蓄の増量をするよう依頼する。

デマンドバスは「ドアからドア」で実施を

答 市内のタクシー事業者は10社で140台以上が運行。路線バス事業者も3社あり6路線が運行。公共交通は事業者と競合することのないように配慮しなければならない。



1月14日降った雪の除雪 1月19日9時 (栗橋東中学校)

その他の質問

◇栗橋宿などを活かしたまち興しを

が問題ではないか。釣れるように網の修繕をするべきである。また、ブルーギルの駆除をしっかりと行うべきと考えるが。

答 指摘を十分現地確認をしながら対策をしていく。利用人数が減っているのが要因なので、指定管理者であるシルバーとよく協議をしていきたい。

問 シルバー人材センターの平成25年度市営釣場管理運営収支予算では、市に納付するため800万円以上を繰入れている。毎年赤字分を繰入れないとやっていけない経営状態は良好ではない。指定管理まかせだったのではないかと。協定書を見直すべきだ。

答 プレゼンテーション等で決めた額で協定を結んでいるので、変更については考えていない。

要望 この状態は絶対によくはない。見直すべきだ。

その他の質問 ◇保育園保護者の育休時に園児を退園させるべきでない◇要介護者の障害者控除対象者認定書は自動発行すべき◇清久工業団地開発

ットスポットなどの検査を増やすべきである。

答 測定器が空いている日を各学校に知らせ、活用していきたい。保育園に輪番で使用し測定していくことを検討したい。

その他の質問 ◇教育委員会の指導主事が連日真夜中まで勤務している異常な実態の改善を。◇市の公共施設の照明のLED化、エアコンのガスヒートポンプへの切り替え、太陽光発電の設置などのエコ化を計画的に進めるべきである。◇市の生活保護世帯の実態と、自立支援の取り組みの推進を。◇今年から運行予定のデマンドバス計画の改善を。使いにくい循環バスの見直しを進めるべきである。



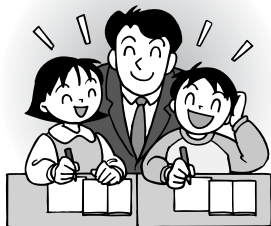
鷲宮支所に設置された放射性物質検査器、左は食品検体

足立 清 議員

公明党久喜市議会議員団

コミュニティ・スクールの導入を

問 コミュニティ・スクール、学校運営協議会を導入すべきだが考えを伺う。この制度は学校と保護者と地域住民がともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支えて行く、地域とともにある学校づくりを進める仕組みである。最近のいじめ問題や、教師による体罰問題がクローズアップされた事に



より、学校運営のあり方や指導方法が問われている。地域全体で学校や家庭教育を支援し、地域の教育力の向上を図る必要を感じている。市教育委員会が指定すれば、学校運営協議会を設置できることになっており、全国的に導入する教育委員会も増えてきており、久喜市での導入の検討について伺う。

答 文部科学省のコミュニティ・スクール指定校は、ご指摘のとおり年々増加している。県、市教育委員会では学校評議委員制度や学校応援団、など保護者や地域住民とともに子供の豊かな成長を支えていく取り組みをしており、コミュニティ・スクールと重なる点が多いところである。今後引き続き調査する。また、学校の方で導入したいと言う希望があればモデル校のような形でバックアップしたい。

その他の質問 ◇災害情報発信事業モンスズの導入を提案

園部茂雄 議員

政策会議

救急医療体制の充実を

問 本年市内で1月6日(日)23時25分ごろに75歳のひとり住まいの高齢者から救急搬送の要請があった。救急隊が約5分後に現地に到着、その後受け入れ照会で25病院、36回断られ、37回目で搬送先が決まったが、現場滞在時間が2時間21分でその間に患者の様態が悪化し、その患者が亡くなられたという事案が発生した。市内の救急医療体制の現状を市はどのように把握し、市民が安心して生活できる救急医療を再度県や近隣市町と連携し、構築していくべきだが、市の考えを伺う。

答 第2次救急医療体制を協議し整備、救急患者を受け入れるための態勢を輪番制により整えている。事態を重く受けとめ今後、東部北地区救急医療対策協議会

などで救急患者の受け入れ等について協議し、市民が急病時に安心して適切な診療を受けることができるよう関係医療機関と消防を含めた行政が連携を進めながら、救急医療体制の確保に努めていく。

※県は平成26年度に救急医療情報システム(全救急車にipadを導入、リアルな受入先照会)の導入を検討、また、急患の夜間防災ヘリ救急搬送を検討するなど、様々な対策が進められている。

その他の質問

◇要援護者が安心して暮らせるまちづくりについて◇3世代同居支援について



岡崎克巳 議員

公明党久喜市議会議員団

地球温暖化対策、CO2削減に向けて

問 LED防犯灯をリース方式で導入してはどうか。
答 防犯灯設置総数9,428基のうち、LED防犯灯は417基、4.4%である。リース方式での導入自治体の状況を参考に調査研究を進める。
問 公共施設のLED照明の導入計画策定は。
答 久喜市環境基本計画の実施方策の一つとして掲げこの中で照明器具や電球をLED照明に切り替えることを位置づけ、施設の監督者が取り組むことにしている。
問 道路のLED照明を計画的に導入してはどうか。
答 新規設置や更新時にLED照明を導入する。久喜市総合振興計画で、平成24年度から平成34年度までの

10年間、毎年8基程度LED照明を設置する。
問 公用車の電気自動車の導入と充電器の設置を考えてはどうか。

答 電気自動車は、地球温暖化対策や走行時における二酸化炭素削減といった環境面の効果がある。国の補助対象経費の見直しの動向にも注視しながら電気自動車等の導入について検討する。

問 エネファームの補助制度を導入してはどうか。

答 太陽光の補助制度を先行し落ちついたら、エネファーム、エコキュート等、また太陽熱を利用した設備などセットにした導入等、今後検討する。



松村茂夫 議員

飛 翔

災害時支援隊の見直しと消防団強化に向けて

問 消防団の負担軽減のために、災害時支援隊をより活用すべきだが。

答 災害時支援隊が消防団活動に加わるということであるが、他市の例を見ても後方支援が多い。実際にどのような活動をしてもらえるのか、あるいは災害時に現場で支援隊が、さらに一歩進んだ活動をするという話は、消防団長、消防団の方、支援隊



宮崎利造 議員

飛 翔

教育における食育推進について 他

問 食農教育、農業体験活動への支援状況と今後の方向性は。

答 食農教育として、学校教育活動全体を通じて食や農業について学習し、収穫の喜びを味わえるような体験学習を行っている。学校ファームの取り組みを支援している。今後も支援していきたい。

問 都市計画道路杉戸・久喜線及び市道1号線と都市計画道路青毛・下早見線の交差点について、青毛方面から西口方面に右折する場合の右折矢印信号機の設置ができないか。

答 久喜警察署は、都市計画道路杉戸・久喜線と青毛・下早見線との交差点には右折車線が整備されているた

め、交通状況等を調査した上で右折式矢印信号機の設置を判断したい、とのことである。

東京理科大学久喜キャンパスについて

要望 議会の質問の場で、こういう意見が出たと理科大に伝えてもらいたい。市は、理科大久喜キャンパスに投下した40億円を上回る投資効果を期待した。今もそれを実現させる責任がある。30億円と10億円がそのまま溶けてしまっただけでは市民に申し訳が立たない。貴校は、市の支援を受け経営学部久喜キャンパスを開設し、10年余を経て経営に失敗、全面撤退を市に申し入れるに至った。これは経営学部の貴重な実証教材に恵まれたと考える。久喜キャンパスを名門理科大の高い知性と経営理論で見事に立ち直らせるべきである。これが最新、最高の経営実践である。経営の美学と実践を見せていただきたい。もしやる気がないなら土地、建物等の一切の権利を放棄し、久喜市に移譲し、撤退していただきたい。

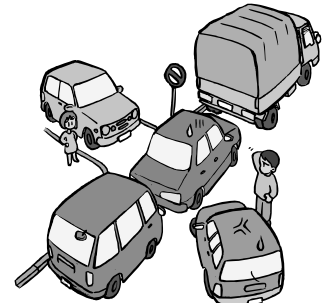
め、交通状況等を調査した上で右折式矢印信号機の設置を判断したい、とのことである。

問 杉戸・久喜線開通に伴い、県道上尾・久喜線との交差点の信号機のサイクルを変更できないか。

答 県警本部が現地を確認し、当該交差点の信号機のサイクル調整を行った。今後も久喜警察署は当該交差点及び周辺道路の交通状況を確認の上、必要に応じてサイクル調整等を行い、渋滞の緩和に努める。

問 いまだに朝の通勤時間帯、東町のほうまで渋滞している。再度要望し早急に調整をお願いしたいが。

答 警察に再度サイクル調整を要望していきたい。



大谷和子 議員

飛 翔

放課後子ども教室ゆうゆうプラザについて

問 ゆうゆうプラザは順次開校している。教室それぞれの悩みや課題などを把握し、きめ細かい支援が必要。運営システムや経費面での効率化の試行をさらに進めて、低予算で、実施委員にも負担が少なく、ボランティア本来の喜びを感じられるような運営システムを確立することが、この事業



ゆうゆうプラザの将棋教室

の発展に不可欠ではないか。今後の取組みを伺う。

答 今年度の開校は1校。悩みや課題は学校の地域性、特性があるが、運営委員会を通してそれぞれの実情に応じ、今後の研修会のあり方も含め、きめ細かい支援をしていく。運営システムや経費面の効率化も必要であると認識している。実施委員、サポーターの方々の子供たちの笑顔でボランティアの喜びを感じられるような運営システムの効率化に取組む。

健康長寿の取組みについて

問 元気なシニアを増やし、高齢者が元気で若々しさが満ちるまちづくりにどのように取組むか。

答 それぞれのライフステージに応じた健康づくりを進めていく。行政だけではなく地域の各種団体や自治会等の組織と協働し、健康長寿のまちづくりを進めたい。また県の健康長寿モデル都市として本市が選定され、高齢者等の健康増進や生きがいづくり等、団地での介護予防事業にも取組む。

意見書

議員提出議案として提出され、可決された意見書を関係大臣等に送付しました。

●東日本大震災に伴う液状化対策事業の宅地部分に対し国の支援を求める意見書

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、復興大臣

本会議傍聴者数

期 日	内 容	一般傍聴者数
2月12日	委員長報告、議案上程	9人
2月24日	代表質問	48人
2月27日	市政に対する質問	31人
2月28日	市政に対する質問	10人
3月1日	市政に対する質問	36人
3月4日	市政に対する質問	9人
3月6日	議案質疑、議員提出議案上程、委員会付託	5人
3月19日	委員長報告、議員提出議案質疑、討論・採決、閉会中の継続審査	4人
計		152人

委員会傍聴者数

期 日	内 容	一般傍聴者数
2月5日	議会運営委員会	0人
2月24日	議会運営委員会	1人
2月28日	議会運営委員会(2回)	0人
3月6日	議会運営委員会 予算決算常任委員会	1人 0人
3月7日	総務財政市民常任委員会 総務財政市民分科会(予算決算)	0人 0人
3月8日	福祉健康常任委員会 福祉健康分科会(予算決算)	1人 0人
3月9日	議会運営委員会(2回)	3人
3月11日	建設上下水道常任委員会 建設上下水道分科会(予算決算)	0人 0人
3月12日	教育環境常任委員会 教育環境分科会(予算決算)	1人 1人
3月19日	予算決算常任委員会 議会運営委員会(4回) 建設上下水道常任委員会	1人 1人 0人
計		10人

編集後記

2月議会は予算議会とも言われ、新年度のあらゆる事業に係る予算をていねいに審議します。市長より市政運営並びに予算編成に対する基本方針(施政方針演説)が示された後、代表質問が行われましたが、合併後の「一体感」についての質問が、多くの会派からありました。早いもので合併4年目がスタート、今回審議したあらゆる事業

が、久喜市及びそこに暮らし、集うすべての方々の幸せや喜びに繋がっていくことを望んでいます。また開かれた議会をめざして2月議会は日曜議会があり、そして今議会から議会インターネット中継が始まりました。多くの方々に観て頂いた結果が出ていますが、録画でいつでも様子を確認出来ますので、ぜひパソコンを開いてみて下さい。(井上)

◆コスト表示…この「久喜市議会だより」は、59,500部作成し、1部当たり10.6円です。

陳 情

●陳情書(議員定数削減と、地方分権時代の議会としてのさらなる充実、活性化について)

未来工房 ハッピー久喜 代表 後上 民子

議会を傍聴してみませんか



○市議会は皆さんが自由に傍聴できます。

本会議 定員50人

常任委員会、議会運営委員会、代表者会議、全員協議会 定員15人

○手話通訳をご希望の方は、事前にお申し込みください。

日程等については、ご相談に応じます。

○問合せ 議会事務局 TEL 0480-22-1111

議会傍聴に関すること(内線5114、5115)

手話通訳に関すること(内線5112、5113)

FAX 0480-21-6061

○議会のホームページでも傍聴についてご案内しています。

議会の詳細は「会議録」で



議員の発言内容を詳しくお知りになりたい方は、市役所(議会事務局)、各総合支所、市立図書館、公文書館で「会議録」が閲覧できます。また議会のホームページからも「会議録」の検索・閲覧ができます。ぜひご利用ください。

なお、2月定例会の会議録は校正事務の都合上、閲覧・ホームページへの掲載は、5月下旬になります。

広報委員会委員

- ◎ 齋藤 広子
- 園部 茂雄
- 石田 利春
- 井上 忠昭
- 大谷 和子
- 田村 栄子
- 並木 隆一
- 盛永 圭子
- 猪股 和雄
- 鎌田 忠保
- 岡崎 克巳

(◎委員長 ○副委員長)